



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和5年2月10日（金）No 38 発行
文責：松本 卓也

確かな学力の育成に向けて ～家庭学習のススメPart3～

12月1日（木）、1・2年生に実施しました熊本県並びに八代市学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。



(1) 学力調査

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	≒ ; ↑	≒ ; ↓	▼ ; ↑	≒ ; ↑	▼ ; ↓
2年生	△ ; ↓	≒ ; ↑	△ ; ↑	≒ ; ↑	≒ ; ↓

※目標値に対し、5ポイント以上、上回っているを△、下回っているを▼、同程度を≒で表示
※4月調査と比較し、上昇している場合は↑、下降している場合は↓で表示

(2) 学習状況調査 (i-Check)

質問内容 (八代管内三つの指標)	1年生	2年生
① 学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。	ほぼ毎日と回答した生徒の割合 45.5 △ ; ↑	33.3 ≒ ; ↑
② クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか。	良好でないと回答した生徒の割合 18.2 △ ; ↑	66.7 ▼ ; ↓
③ 学校生活の中で何回ぐらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。	当てはまると回答した生徒の割合 63.6 △ ; ↓	66.7 △ ; =

※全国に対し、「プラスを△、マイナスを▼」で表示
※5月調査と比較し、上昇している場合は↑、下降している場合は↓で表示

学力調査結果から、本校生徒の学習状況は、2年生はおおむね良好である一方、1年生は、特に数学、英語に課題があることがわかりました。また、学習状況調査 (i-Check) 結果からは、学習習慣 (家庭学習) は育成が図られつつあるものの、2年生の規範意識に課題があることがわかりました。夢を実現するための礎となる「確かな学力」の育成に向け、①子どもたちが主体的な学び手となる授業改善と②家庭と連携した学習習慣の形成 (家庭学習の充実) に、3学期も継続して力を入れていきたいと思っております。具体的には、以下の取組を改善を図りながら進めていきます。

① 子どもたちが主体的な学び手となる授業改善

- ・課題解決型授業や対話型の授業等、「授業改善ステップワン」の徹底
- ・授業を進める先生と個別に対応する先生の2人で授業を行う toyo ティーム・ティーチング

② 家庭と連携した学習習慣の形成 (家庭学習の充実)

- ・家庭学習を自ら計画を立てて、決まった時刻 (一定の時間) に学習する toyo スタディタイム
- ・個人別復習プリント、弱点克服ドリルを朝自習と家庭学習で取り組む学力充実期間

「自らの学びを知り、次の学びに向かう熊本の子どもたちに！」学習習慣の形成には、ご家庭との連携が重要です。ご家庭でのお子様の学びの姿について、保護者の皆様の側面からの支援 (ペーサーメーカー・サポーター・ファシリテーター) をお願いいたします。※詳細は裏面をご覧ください。

県教育委員会作成の「熊本の学び推進プラン」啓発用チラシに、家庭学習チェックリストが掲載されていました。お子様の現在の家庭学習の状況を見直されてみませんか？

【子どもと一緒にチェック】

- 家庭学習について、ルールを決めている
- 机の上は、学習用具だけで集中できる状態になっている
- 正しい姿勢で家庭学習に取り組んでいる
- 家庭学習を、決まった時刻に始めている
- 家庭学習ノートをもとに子どもとのやり取りができている

【保護者がチェック】

- 子どもの家庭学習ノートを見ている
- 子どもの家庭学習ノートで、よくなった点、工夫した点をほめている
- 子どもが家庭学習を継続することを、認め、ほめ、励ましている



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()

